

参院選へキックオフ

比例・大門氏、京都・たけやま、兵庫・こむら氏勝利訴え

7カ月後に迫った参院選勝利へ11月29日、JR京都駅前(写真上)、神戸市三宮交通センター前(写真下)で、予定候補の「お披露目宣伝」が行われ、比例・大門みきし参院議員、京都選挙区(定数2)たけやま・さいこ、兵庫選挙区(定数3)こむら潤両氏が訴え。こくた恵二衆院議員、井上さとし、倉林明子両参院議員(京都)、清水忠史前衆院議員(神戸)が駆け付けました。



●**京都** 京都で大門参院議員は、「京都生まれ、京都育ち。たけやまさんとコンビで、何としても勝ち抜きたい」と表明。「積極的提案で、願いを実現してきた党が共産党」と持続化給付金や制度改善を実現してきた実績を強調。「新自由主義を続けてきた政治の大もとを変えるため、参院選で政権交代の足がかりを」と訴えました。

たけやまさんは、「先の衆議院選では、ジェンダー平等、格差と貧困の解決など女性や若い世代の願いを実現しようと全力で訴えた」「京都の衆参議員の中で、女性議員は倉林さんだけ。男女の間の格差をつくりだし、自分らしく生きたいという願いに応えるため、何としても私を国会に送り出してほしい」と力を込めました。

こくた衆院議員は、「大門さんは経済問題、中小企業支援の専門家。その論戦力は、あの麻生前財務大臣が一目も二目もおくもの」「たけやまさんは、現場の生活に根差した要求を掲げ、住民と共同して実現する突破力がある。気候変動、ジェンダー平等など次代を担う候補者だ」と強調しました。

●**神戸** 神戸市三宮で大門さんは「神戸大に入学し、三宮は青春の地」と紹介、阪神淡路大震災の時、「共産党の議席があってよかった」という声をあげて苦難解決に奮闘する党の値打ちを強調しました。

こむらさんは、衆院選兵庫8区で野党統一候補として奮闘した経験を示し、「野党共闘を強め、参院選勝利を足掛かりに政権交代を」と訴え。ジェンダー平等に触れ、「十人十色、一人ひとりが支えあうやさしい社会に」と語りました。

清水さんは、衆院選は初めて政権交代に挑戦した意義のあるたたかいとのべ、「議席は失ったが、大門さん、こむらさんと力をあわせ願い実現へ頑張る」と決意を表明しました。



21近畿ブロック事務所ニュース

Tel06(6975)9111 Fax06(6975)9115

【府県・地区・地方議員御中・部内資料】

No. 49(2021.11.30)